

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 1 月 22 日 No45

見事な手さばき（鰯を調理する）



左の写真は素手で鰯をさばいているところです。見事な手さばきです。3年生の家庭科では「食生活と自立」の学習の中で、魚や肉、野菜などを中心に日常よく用いられる食品を取り上げ、基礎的な日常食の調理ができるようにすることが求められています。この日の食材は旬の魚マイワシです。占部先生の「今日は包丁とまな板は一切使いません。50分で試食までいきますよ。」という言葉で始まった家庭科

の授業。先生の説明に生徒たちは真剣に耳を傾けています。前面の黒板には授業のめあてと手順が分かりやすく整理されています。各グループのキッチン台の上にも手順表が準備されています。説明は7分程度で終わり、いよいよ鰯のかば焼き作りにチャレンジです。青く光る生魚に悲鳴を上げている時間はありません。どのグループも手順表を見ながら真剣そのものです。自分の鰯の準備ができたなら、調理、調味に分かれて手際よく作業が進みます。調味グループの



計量器の使用も慣れたものです。かば焼きのおいしそうなおいが教室を包み始めました。40分後には後片付けもきちんと終わり、グループでそろって「いただきます」ができていました。自立するための基本的な調理技術を身に付けていく様子を見ることができました。



生徒会役員が本格的に始動

この冬一番の寒波が襲ってきた今週月曜日から生徒会役員による「朝の挨拶運動」がはじまりました。挨拶が気持ちよい学校にしたいという生徒会役員たち。それならば、まず自分たちからと登校してくる生徒たちを気持ちのよい挨拶で迎えています。故事成語に「先ず隗（かい）より始めよ」という言葉があります。もともとは“手近な私から使ってください”“という意味から”先ずは言い出したものから始めよ“という意味になりました。自ら率先して行動する。これがリーダーとしての大事な条件です。生徒会役員は本物のリーダーへ着実に成長しています。

